

館内情報を時間・場所毎に最適化、 オンラインで配信する。



心齋橋PARCOでは、来店客の動線上にあるポスターボードやフロアサインをデジタル化。館内26箇所のデジタルサイネージにより、最適な情報をオンラインで配信している。

リアルとオンラインを繋ぐ 様々なデジタル施策導入を支援

(株)パルコのグループ会社である(株)パルコデジタルマーケティングは、心齋橋PARCOに、バーチャルツアーを始めとしたオンラインコンテンツ、入店予約システムを含む公式Webサイトの構築、デジタルサイネージ(以下、サイネージ)の導入など、コロナ禍の中、商業施設に求められるリアルとオンラインを繋ぐ様々なデジタル施策の導入支援を行った。

館内のサイネージにおいては、2014年の福岡PARCOを皮切りにPARCO全店舗をつなぐ基幹システムとして、スウェーデンのグローバルデジタルサイネージCloudサービス「Dise(ダイス)」[販社:(株)ファン・ファクトリー]で来店客の動線上にあるポスターボードやフ

ロアサインをデジタル化。館内26箇所のこれらサイネージを使って最適な情報をオンラインで配信することで、労務を削減するほか、館の情報発信力も向上させた。Webサイトの情報と連携するCMS※を導入して運用負荷を抑えつつ、感染症対策のお願いや、イベント及びショッピング情報などのコンテンツを時間・場所毎に最適化し、オンラインで配信しているという。

※サイネージコンテンツ配信・マネジメントシステム

フロアの食やお酒の魅力、 エンターテインメントを 心齋橋の中心地から全世界へ発信

フロア中央のカーブ型の大型LEDビジョン(P44を参照)が目を引き「心齋橋

ネオン食堂街」には、DJやVJブースが設置されており、ここでは多彩なイベントや動画コンテンツ配信などが行われる。

また、公式YouTubeチャンネル「心齋橋PARCOネオンチャンネル」を開設し、フロアの食やお酒の魅力、エンターテインメントを、心齋橋の中心地から全世界へ発信するという。

なお、「心齋橋ネオン食堂街」での空間演出のためのVJシステムを含む映像・音響システムの構築は、ファン・ファクトリーが担当した。このほか、6階エスカレーター脇に設置されたLEDビジョン2面(W3,500mm×H2,000mm/1面、3.1mmピッチ、1,000cd/m²)の構築もファン・ファクトリーが担当。これらのLEDビジョンは、アニメやキャラクターが待つフロアへの誘導役を担っている。

